会 議 録

1 会議名

第3回柿崎区地域協議会

- 2 議題(公開・非公開の別)
- (1) 協議事項(公開)
 - ・ 令和 2 年度柿崎区地域活動支援事業の採択について
- 3 開催日時

令和2年6月23日(火)午後6時から午後6時58分まで

4 開催場所柿崎コミュニティプラザ 3 階 305~307 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

なし

- 7 出席した者 (傍聴人を除く) 氏名 (敬称略)
 - · 委 員:岩野秀樹委員、薄波清美委員、貝谷雅子委員、片桐宏樹委員、片 桐充委員、小出祥世委員、小山慶委員、白井一夫委員、武田正教 委員、中村誠委員、箕輪明男委員、蓑輪和彦委員、吉井一寛委員、 吉村正委員
 - ・事務局: 柿崎区総合事務所 市川重隆所長、柿村勇次長、保倉政博次長、滝澤陽一産業グループ長、武田勝博建設グループ長、池田佳子市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、春日香織主任
- 8 発言の内容(要旨)

【柿村次長】

・地域協議会の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。
- ・協議前に、市文化行政課から「地域の宝」認定制度についての説明があることを報告。

(市文化行政課が説明)

【柿村次長】

「地域の宝」認定制度について、何か質問はあるか。

(質問なし)

【柿村次長】

資料についての問合せは文化行政課ということであるが、総合事務所 1 階教育・ 文化グループでも対応するので連絡いただきたい。

【吉井会長】

- •会長挨拶。
- ・会議録署名委員に3番貝谷委員を指名。

【吉井会長】

協議に入る。令和2年度柿崎区地域活動支援事業の採択を始める。全部で10の支援事業の提案があり、共通審査基準の評点の高い事業から順に採択していく。

柿崎中学校創立 50 周年記念式典・記念講演会事業。共通審査基準の評点は 21.929 点。事業費 118 万 6,000 円。補助率 1.0 で、補助希望額が 100 万円。採択してよろ しいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員举手)

【吉井会長】

決定額 100 万円で採択をする。

続いて、柿崎ソフトテニス活性化事業。共通審査基準の評点は 21.857 点。事業費 55万844円。補助率 1.0 で、補助希望額が55万円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員举手)

【吉井会長】

決定額55万円で採択をする。

続いて、柿崎区青少年育成会議「柿崎総ぐるみあいさつ 1,000 人大運動」事業。 共通審査基準の評点は 20.714 点。事業費 30 万 51 円。補助率 0.9 で、補助希望額 が 27 万円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

決定額27万円で採択をする。

続いて、ドーム周辺花いっぱい事業。共通審査基準の評点は 20.643 点。事業費 28 万円。補助率 0.8 で、補助希望額が 22 万 4,000 円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員举手)

【吉井会長】

決定額22万4,000円で採択をする。

続いて、柿崎まちづくりカレンダー作製事業。共通審査基準の評点は20.571点。 事業費83万7,900円。補助率0.8で、補助希望額が50万円。採択してよろしいか。 よろしい場合は挙手願いたい。

(全員举手)

【吉井会長】

決定額50万円で採択をする。

続いて、かきざき湖八重桜の周遊路整備継続事業。共通審査基準の評点は 20.214 点。事業費 99 万円。補助率 0.8 で、補助希望額が 79 万 2,000 円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

決定額 79 万 2,000 円で採択をする。

続いて、密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業。共通審査基準の評点は 20.071 点。事業費 22 万 6,800 円。補助率 0.8 で、補助希望額が 18 万 1,000 円。 採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

決定額 18 万 1,000 円で採択をする。

続いて、黒川・黒岩ふれあい事業。共通審査基準の評点は 19.786 点。事業費 54 万 780 円。補助率 0.8 で、補助希望額が 43 万 2,000 円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員举手)

【吉井会長】

決定額 43 万 2,000 円で採択をする。

続いて、柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業。共通審査基準の評点は19.643点。事業費81万3,000円。補助率0.9で、補助希望額が73万1,000円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

決定額 73 万 1,000 円で採択をする。

続いて、和楽器による高齢者の生きがい支援事業。共通審査基準の評点は 18.929 点。事業費 52 万円。補助率 0.9 で、補助希望額が 46 万 8,000 円。採択してよろしいか。よろしい場合は挙手願いたい。

(全員挙手)

【吉井会長】

決定額 46 万 8,000 円で採択をする。以上ですべての事業が採択された。採択後の残額はどうか。

【春日主任】

205万2,000円の残額となる。

【吉井会長】

追加募集のスケジュールを再度確認したい。

【春日主任】

本日、町内会宛てに回覧用のチラシを配布した。追加募集の募集期間は、6月29日から7月13日までの約2週間となる。その後、14日火曜日に委員の皆さんに質問票と事業提案書をお送りする。メールで送ることができる委員にはメールで、他の委員については自宅に出向いて届けたい。質問がある方は、質問票により16日木曜日までに事務局へ提出いただき、17日金曜日には、質問内容をまとめたものを

委員の皆さんへ周知する。週明け 21 日火曜日の地域協議会で、提案事業のプレゼンテーション、審査、採択決定を行いたい。タイトなスケジュールであるが、ご協力をお願いしたい。

【吉井会長】

追加募集については、委員の皆さんからも、知り合いの団体などに周知していた だきたい。地域活動支援事業については、これで終了する。

私から皆さんに提案がある。前回の地域協議会では、地域懇談会を4年間で2回行った。6箇所の地域に出向いて、地域の方からどのような問題があるかを聞き、その中から出てきた課題に対して自主討議を行った。その大きなテーマが、公共交通と保育園の問題である。こちらについては、もう1年か2年をかけて議論していきたいとも考えている。

前回の地域協議会でできなかったことがある。柿崎区内の団体と懇談会を行いたいという話が出ていたが、実現に至らなかった。団体とは、例えばまちづくり振興会、観光協会、商工会などである。各学校の後援会、PTA、町内会長連絡協議会などもある。今回の地域協議会では、まず団体との懇談会を行いたいと考えている。この件について、何か意見、提案があれば伺いたい。

【吉村委員】

もし、実施をするとしたら曜日などは決まっているか。

【吉井会長】

詳細は全く決まっていない。例えば、こういう曜日がいいとか、各団体と一対一で行うか、全団体が集まって1回で行うかなど、いろいろなやり方があると思うが、7月21日の地域協議会で皆さんの意見を聞きながら方向性を決めたい。

【片桐(充)委員】

21 日は、プレゼンテーションや採点などでタイトなスケジュールだが、事務局で採点をしている間に時間がとれると思うので、そのときに協議できればよいと考える。

【吉井会長】

21 日はどのくらいの団体が申請してくるか分からないが、採点の集計作業には 15 分から 20 分はかかると思う。その間に議論をしたい。

【小山委員】

団体と一対一で話し合うのは回数が増え、負担がかかる。いろいろな団体と一緒 に協議できれば効率がよいと考える。

【吉井会長】

団体もたくさんあるので、どういう団体と、どのくらいの委員のメンバーで懇談 会を行うかなどを考えていかないといけない。

【武田委員】

団体というと、商工会、観光協会という名前が出てくるが、こういった団体は資金を持っている団体である。資金がないが、一生懸命活動を行っている団体の意見を聞いた方がよい気がする。

【吉井会長】

お金を持っていない団体はいくつもある。お金を持っているのは、まちづくり 振興会、観光協会、商工会などである。

【薄波委員】

3回目の会で懇談会の話が出たので驚いているが、4年間といっても何かを行うには短い期間だと考えている。会長はいろいろ戦略を立てていると思うが、早い時期に聞き取りを行い、ターゲットを決めて取り組みを行っていかないと、尻切れトンボで終わっていくような気がする。本当に必要な活動、柿崎に住んでよかったと思ってもらえるような活動ができればよいと思っている。

前回の地域協議会でも、よい活動をかなりの時間をかけて行っているのに、成果として残らないものがあった。また、地域に出向いての懇談会を行ったが、参加される住民の中には動員により集まってきた方も多かったと思う。翌年、動員をかけずに開催したらほとんど集まらなかった。

【吉井会長】

薄波委員が言われたように、4年間あると思っていると、何もできないで終わってしまう。早く問題点を抽出して、ポイントを絞って検討を始めたいと考える。もう一点、前回の地域協議会では、上越市内のバス路線を使って旅行をした。それを継続したいと思う。ぜひ、年1回でよいので、武田委員からバス路線を使って旅行の企画をしてほしい。7月に皆さんと検討したい。

一番のポイントは、我々が地域協議会委員になったということは、問題点を持っている方たちが集まっているということである。いろいろな意見を聞き、問題

点を見つけるのも大事だが、その前に皆さん自身でこういう問題があるのではないかということを7月21日に討議したい。

【養輪委員】

地域協議会の役割は大きく3つあった。地域活動支援事業の決定、市からの諮問への答申、地域課題の検討である。すべて大切だと思うが、やはり地域の問題をみつけ、検討していくのがとても大切だと考えている。その地域の課題や住民の意見を集約するための方法論を皆で検討したい。会長からも話があったように、委員自らの問題提起、外郭団体との意見交換などあったが、他にも何かよい方法があるかもしれない。次回の会議から検討していきたい。

【吉井会長】

地域活動支援事業の採択は、7月21日に決定するので、その後はしっかりと問題 点を掘り下げていきたいと思う。

続いて、その他に入る。第4回地域協議会について、7月21日火曜日、午後6時から開催する。内容は、追加募集の採択及び地域の課題解決に向けた検討協議を行う。委員の皆さんから連絡、質問などはないか。

【吉村委員】

先日、地域協議会だより編集委員会から抱負文を 100 字程度にまとめて提出してほしいという案内があった。3 月に、委員として届出をする際に抱負文を書いたので、それを活用できないか。

【片桐(充)委員】

今回、編集委員長になった。先日の編集委員会で、地域協議会だよりに委員の抱 負と顔写真を掲載することで決定したところである。お手数をかけるが、再度、届 出の際に提出いただいた文章を100字程度にまとめていただきたい。

【吉村委員】

編集委員会で決定したので出してほしいというのはおかしい。文章もすでに事務 局に提出してあるので、手元に残っていない。

【春日主任】

事務局で確認し、前回提出いただいた文章を活用することとしたい。100 文字程度であればそのまま活用するが、長かったり短かったりした場合は相談したい。

【吉村委員】

よろしくお願いしたい。

【片桐(充)委員】

吉村委員と同様に、前回提出した文章を活用したい方は、事務局に伝えてほしい。 先日の編集委員会で、今年度の地域協議会だよりの発行回数を3回、発行期日を8 月25日、12月25日、3月25日とすることで決定した。他に、緊急でたよりを発 行する必要が出てきた場合は、追加で対応することになる。作成にあたっては、不 慣れな部分もあるため、前回の内容を踏襲しながら進めていきたいと考えている。 8月発行のたよりには委員の紹介の記事を掲載するため、急で申し訳なかったが、 皆さんに依頼をしたところである。より多くの地域の皆さんに読んでもらえるよう な内容にしていきたいので、今後とも意見をいただきたい。

【吉井会長】

地域協議会だよりの編集は大変な作業である。ご協力をお願いしたい。他に連絡事項はあるか。

【春日主任】

- ・配付チラシ等について説明。
- ・地域活動支援事業の追加募集チラシについて説明。

【吉井会長】

追加募集チラシの裏面の残額が148万円と記載されているが、今回の採択により、205万2,000円になるがどうか。

【春日主任】

そのとおりである。このチラシは本日の採択決定前に作成したチラシであり、6 月1日時点での残額となる。本日の地域協議会で残額が確定したので、これから設置するチラシは残額を修正したい。

【吉井会長】

他になければこれで終了する。

【白井副会長】

閉会を宣言。

(午後6時58分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL: 025-536-6701 (直通)

E-mail: <u>kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp</u>

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。